

花巻駅西口改札設置及び花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
平成12年度	<p>西口改札所の設置についてJR東日本コンサルタンツに基本設計を委託。次の2案を提示。</p> <ul style="list-style-type: none">① 既存こ線橋をそのまま延伸する「延伸案」 概算整備費 3億9800万円。② 新たに西口広場までのご線橋を建設し既存こ線橋に併設する「併設案」 概算整備費 4億2900万円。 <p>※両案とも駅員が常駐する西口改札所事務室を設置。</p>
平成14年度	<p>平成12年度JR東日本コンサルタンツに委託した基本設計に基づく西口改札所設置の条件をJRに照会。</p> <p>(JR回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 建設費のほか、西口改札所に常駐する駅員人件費を含めた管理運営費の全額を永続的に地元で負担。 ※JR提示による概算の管理運営費 人件費約2100万円、機器使用料約462万円・ 設置協議の前提として利用者の基礎調査が必要。・ 既存地下道に加え新たに西口改札設置の理由が必要。

花巻駅西口改札設置及び花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
平成15年12月	定例会一般質問、齋藤政人議員の「花巻市新発展計画後期基本計画（平成13年度から平成17年度まで）」の事業進捗状況に関する質問への答弁。（渡辺市長） 多額な費用を要すること等から、次期計画（平成18年度から）に繰り延べざるを得ない事業であることを答弁。
平成18年1月	新花巻市誕生。新市建設計画（平成17年2月策定）に「花巻駅西口関連整備事業（継続調査）」と掲載。
平成19年3月	花巻市総合計画基本計画（平成19年度から平成27年度）に「花巻駅西口関連整備事業（調査事業）」と掲載。
平成21年1月	議員全員協議会(花巻市公共交通実施計画素案の説明)において、本館憲一議員の花巻駅西口改札所の設置についての質問に対し、総務企画部長から「直ちに動ける状況ではなく時間をかけて検討する必要がある」と回答。
平成21年11月	市経営会議(庁議)において「設置は困難。地下道改修を実施して終了すべき」と方針決定。(非公表)
平成22年10月	花西地区まちづくり協議会から「花巻駅西口改札の設置について」要望書が提出

花巻駅西口改札設置及び花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
平成22年11月	<p>花西地区まちづくり協議会から要望に対し「花巻駅西口改札所を整備する場合、約4億円の建設費と永続的に年間2500万円の管理運営経費が生じることとなり、ご提言のありました跨線橋の整備や中央改札口に設置についても、同様の経費負担が予想されます。また、駅利用者につきましても減少が続いており、ご提案の実現は難しい状況でありますことから、まずは、駅西口利用者の利便性向上のため、地下道の改修を進めてまいります。」と回答。</p> <p><u>※要望書のタイトルは西口改札所であるが「跨線橋の整備と中央改札口の設置」の要望であり、これはいわゆる東西を結ぶ自由通路整備と合わせ駅を橋上化する内容である。</u></p> <p>一方、市で回答した建設費約4億円及び管理運営費約2500万円の金額の根拠について、当時の担当に聞き取りしたところ「建設費はJRに委託した西口改札の基本設計の金額と思われる。管理運営費の2500万円は、明確な根拠があるわけではなく、当時あった資料の中から想定して出した数字と思われる」とのことであり、<u>このことから建設費約4億円は、駅の橋上化の建設費ではなく、平成12年度にJR東日本</u></p>

花巻駅西口改札設置及び花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
(同上)	<p>コンサルタントに委託したこ線橋を延伸して西口改札所を設置する場合の基本設計に基づくものであり、その当時において駅の橋上化を検討したものではないと思われる。管理運営費については、平成14年度にJRから回答のあった西口改札設置に伴う管理運営費約2500万円(人件費2100万円、機器使用料462万円)から想定したものと思われる。</p>
平成23年度～ 平成24年度	<p>花巻駅公共地下道改修工事。床の塗替、階段及び壁面タイル修繕、排水溝拡張、手すりの設置など実施。改修工事費4377万円。</p>
平成27年3月	<p>JR東日本東北工事事務所に対し平成12年度にJR東日本コンサルタントに委託した基本設計の工法による、既存のこ線橋を延伸し西口改札を設置する方法が可能か確認。</p> <p>(JR回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 既存こ線橋を延伸して改札を設置する方法は、JRとして今(H27)ではあり得ない工法であり、現在は駅の橋上化で検討することとなる。・ 改札は人件費を考慮し1個所に集約する。・ 基本設計については、JR東日本コンサルタントではなく、直接JR東日本に委託してもらえれば、市の構想を聞いたうえで検討する。

花巻駅西口改札設置及び花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
平成29年9月	9月定例会で補正予算「花巻駅周辺整備基本計画調査業務委託料1491万円」を議決
平成29年11月	JR東北工事事務所と花巻駅周辺整備基本計画調査に係る協定を締結。
平成30年9月	JR東北工事事務所から花巻駅周辺整備基本計画調査の報告書納品。 概算整備事業費(1)橋上化案 52.8億円、(2)半橋上化案 49.9億円
平成31年4月	概算事業費を縮減するため、市からJRに対し、半橋上化案、既存こ線橋活用案の2案を提案。 (市提案) (1) 半橋上化案 改札口など駅機能を地上部に設置。加えて、鉄道施設・都市施設を現駅舎と同等の面積とする。線路上の構造物を減らすことで施工費・期間を縮減。 (2) 既存こ線橋活用案 駅構内のご線橋を新設するのではなく、既存こ線橋に駅舎を併設して、バリアフリー化のために設置したエスカレーター及びエレベーターを廃止せず活用することで縮減。

花巻駅西口改札設置及び花巻駅東西自由通路(駅橋上化)整備の検討経過

時 期	経 過 内 容
(同上)	<p>(J R回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (1) の半橋上化案を再計算することは可能。 ・ (2) の既存こ線橋活用案は、既存こ線橋がレール造であり、開口部の安全性が保てないことから、駅舎と併設して繋げることは不可能。
令和元年11月	JR東日本盛岡支社から再計算した半橋上化案（コストダウン案）提示。
令和元年12月	JR東日本盛岡支社より、既存こ線橋は撤去したい旨の意向。
令和2年1月	国土交通省東北地方整備局建政部都市・住宅整備課より、こ線橋の撤去費用は、補助対象にならないことを確認。
令和2年5月	議員説明会でJRで再計算したコストダウン案（半橋上化案）を説明。
令和2年6月 ～12月	<p>駅近隣4地区住民説明会及び市内全域対象説明会2回の計6回開催。</p> <p>その他、花巻地域のコミュニティ団体等への説明会を10回開催。その中で、西口トイレの整備要望、西口広場駐車場整備の要望、半橋上駅ではなく橋上駅を要望する意見等あり。</p>
令和3年2月	住民説明会で出された要望や意見の検討及びJRから提案された駅機能の縮小方針や自由通路延長の短縮のなど、事業費精査のための追加調査が必要と判断し、令和3年度当初予算案に調査費を計上。